

## 重点施策 7 市民総参加のスポーツと健康教育の推進

### 【施策方針】

生涯にわたって、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図り、市民が健康で明るく生活できるよう務めることにより、市の活性化に努める。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 社会体育の振興
- ② 学校体育との連携
- ③ 野外活動の推進
- ④ 国体準備事業の推進

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 社会体育の振興

スポーツに親しむ市民の拡大と継続したスポーツの推進を図り、社会体育を通じて、すべての市民が健康で明るく生活出来るよう努めた。

・市体育協会への助成を通じて、優秀な成績を取めた方の顕彰や、スポーツ大会の開催、全国大会などへの出場者に助成を行うなど、スポーツ活動の振興を図った。

・スポーツ少年団への助成を通じて、交流研修会、体験発表会、ソフトボール及びサッカー大会を開催した。また、大会の参加や開催を促進し、競技力の向上に努めた。

・体育協会及びスポーツ少年団への助成を通じて、スポーツの振興を図った。

・スポーツ推進委員によるドッジボール大会を開催するなど、生涯スポーツの普及に努めた。

・公認スポーツ指導員等の資格取得に対して助成を行うなど、指導者の育成及び確保の促進に努めた。

・社会体育施設の保守点検を適宜行い、不良個所の修理を行うことにより、安全で快適なスポーツ、レクリエーション活動の環境整備に努めた。

・市民スポーツフェスタ 2014 (17 地区公民館、1,000 名参加)、第 35 回八幡浜市クロッケー大会 (23 チーム、78 名参加)、市民健康マラソン (763 名)、八幡浜駅伝カーニバル (139 チーム、695 名参加) の開催など、市民が気軽に参加できるスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ、レクリエーションの機会を提供した。

・第 13 回大学女子学生ソフトボール大会 (12 チーム、240 名参加) を開催し、スポーツ交流人口の増加と地域振興を図った。

## ② 学校体育との連携

市民のスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放し、広くスポーツの健全な普及促進と健康増進を図るとともに、学校体育との協力体制の推進に努めた。

- ・著名なスポーツ選手が「夢先生」となって、子供たちに夢を持つことや仲間を思いやることの大切さを実体験を通して伝える「夢の教室」を白浜小学校及び宮内小学校で実施した（日本サッカー協会への委託事業。）。
- ・学校施設の体育館及びグラウンドの開放を行い、市民へのスポーツ、レクリエーション活動の場を提供した。
- ・第 24 回世界少年野球大会愛媛大会を本市でも開催し、交流試合や交流イベントを通じた青少年児童の国際交流を行った。

## ③ 野外活動の促進

児童生徒の自然とのふれあいの中での豊かな人間性を養う野外活動の展開を図った。

- ・第 46 回八幡浜市歩け歩け大会（1,100 名参加）、マウンテンカーニバルで GO！（6,000 名参加）などのアウトドアスポーツイベントを開催し、スポーツ交流人口の増加と地域振興を図った。
- ・マウンテンバイクの貸出し事業を実施するとともに、定期的にマウンテンバイク教室を実施し、競技の普及促進に努めた。

## ④ 国体準備事業の推進

平成 29 年に開催される愛媛国体に向け、広く市民に周知を行い、理解を深めてもらうため広報啓発活動を行った。また、八幡浜市での国体競技開催に向けて準備を円滑に進めていくため、八幡浜市国体準備委員会を愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会八幡浜市実行委員会へ改組した。施設整備については、施設所管課及び所管係と協議しながら進めている。

### 【学識経験者意見】

- 共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会であるために、健康寿命の延伸を図ることが大切だと言われている。生涯健康で明るい生活を送るために、スポーツの持つ意義が大きくなっている。市民のスポーツ活動の場として、これからも学校体育施設等の開放をお願いしたい。
- 市民参加の行事も多く、「歩け歩け大会」、「市民スポーツフェスタ」、「クロッケー大会」、「ドッジボール大会」、「市民健康マラソン」、「駅伝カーニバル」が大変盛況であり、市民が楽しく親睦を深めることができる面からも高く評価できる。
- 全国規模で開催されている「マウンテンカーニバルで GO！」、「大学女子学生ソフトボール大会」では、多くの市民ボランティアの協力により、大変盛り上がる大会に定着したと思う。  
また、27 年度に新たに行われる「シクロクロスやわたはま 2015」にも期待したい。

- スポーツ少年団に対して、少子化が進み、チームを継続していくことが難しくなっているチームもあるかと思うが、子どもたちの心身の成長を願いながら地域の財産として今後とも変わらぬ助成をお願いしたい。
- 平成 29 年開催の「えひめ国体・えひめ大会」を間近に控え、広く市民へ周知していただき、開催に向けた気運醸成に取り組んでいただきたい。また、体育協会、スポーツ推進委員会など諸団体と準備委員会との連携を密にしてほしい。  
平成 28 年度はプレ大会を開催することになっている。長崎、和歌山等の視察を生かした八幡浜らしい取り組みをお願いしたい。

### 【自己評価】

- スポーツに親しむ市民の拡大と継続したスポーツの推進を図り、社会体育を通じて、すべての市民が健康で明るく生活出来るよう、社会体育施設及び学校施設の開放を行っている。安全かつ快適なスポーツ活動の場を提供できるよう、適時適切な施設営繕に努める。
- 市民参加型のスポーツイベントについては、今後も引き続きマンネリ化に陥らぬよう、内容の見直しや工夫を凝らしつつ、事業の展開を図っていく。
- 大規模スポーツイベントの実施にあたっては、スポーツ交流人口の増加によって地域振興が図られるよう心掛ける。また、スポーツイベントに対する住民ニーズの多様化と変化に対応するため、事業内容を検証し、必要に応じて見直しを図る。
- スポーツ活動を通じた青少年の健全育成を図るため、今後もスポーツ少年団活動を下支えするための助成を行っていく。また、少子化の影響を受け、単位団及び団員数が減少傾向にあるが、近隣市町のスポーツ少年団と交流事業を行うなど、広域的な活動を展開することのよって、スポーツ少年団活動を維持していくことを検討する。
- えひめ国体・えひめ大会の競技会場の整備について、王子の森公園運動広場（成年男子ソフトボール競技）は、平成 27 年 6 月にグラウンド部分の改修が完了し供用を開始している。今後は、会場周辺の公園部分の整備に取り掛かるほか、市民スポーツセンター（成年男子バレーボール及び精神障害者バレーボール競技）においても、老朽化した体育館の床の張り替えやバリアフリー化を検討しており、引き続き、競技会の適正な実施と来場者の快適な環境整備に取り組むたい。  
えひめ国体・えひめ大会では、一人でも多くの方にいろいろな形で関わっていただき市民が感動や希望を分かち合えるように、一層の大会の周知に努めて、各種市民運動を展開していく。また、長崎県や和歌山県等への視察を生かして、関係諸団体との連携を密にしながら、リハーサル大会と本大会の成功に向けて準備を進めたい。